



舞鶴市立明倫小学校
令和7年4月30日



古き歴史に新たなる…♪

色鮮やかに咲き誇る明倫緑地のつつじの横を元気に登下校する子どもたち。新学年がスタートし1か月になりますが、学校生活にリズムが生まれ、子どもたちの元気な声が校内に響いています。

先日の4月26日(土)の参観日には、たくさんの保護者、地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。子どもたちが一生懸命学びに向かう姿を見ていただけたことと思います。ご家庭でも、「よくなったところ」「できるようになろうと頑張っているところ」を見つけ、励ましてあげてください。

入学した1年生も少しずつ学校に慣れ、毎日元気に登校しています。楽しみにしていた給食では、「とってもおいしいよ」「牛乳が飲めるようになったよ」などの声が聞こえてきます。ひらがなの学習にも一生懸命に取り組み、学習面・生活面で一つ一つ新しい経験を重ね、日ごとにたくましくなってきました。

4月13日(日)は明倫小学校の創立記念日、153歳のお誕生日でした。「明倫斎」と呼ばれた藩校時代からある校門を開け、学級ごとに記念撮影をしました。また、全校で明倫の歴史について学びました。「明倫」とは、「人として大切なことを学ぶところ」という意味があり、240年前から脈々と受け継がれてきた伝統のある学校です。自分たちの学校に愛着を持ち、校歌にあるように「古き歴史に新たなる光さしそう」のごとく、新たな時代を切り拓くチャレンジ精神をもって、切磋琢磨する子どもたちを育てていきたいと思っています。

そんな本校の自慢の一つに緑豊かな築山のある中庭があります。卒業生でオリンピックの山口有希選手や齋藤里香選手を記念して植えられた「オリンピックオーク」の木をはじめ、ハナミズキやイロハモミジ、ハクモクレンなど様々な草木が色鮮やかに四季を告げ、その周りで子どもたちが鬼ごっこをしたり理科や生活科の観察をしたりして過ごす子どもたちの大好きな場所です。

今年度、この中庭が、エレベーター工事のため木々を伐採してしまうことになりました。移植することも難しく、苦渋の決断です。エレベーターやスロープが整備され、校内の環境が充実することは喜ばしいことですが、この見慣れた中庭の風景が失われることには、寂しさを感じずにはられません。卒業生や地域・関係者の方々で思い出のある方がおられましたら、工事の始まる夏休みまでに学校にお越しいただき、睨に収めていただけたらと思います。

5月は休日も続きます。子どもたちには「学校のやくそく」に従って連休の過ごし方を指導していますが、ご家庭でも楽しく安全に過ごせますようお声掛けください。

地域、学校関係者の皆様には、様々な行事等を通じて子どもたちのがんばりを見ていただき、励ましていただきますようお願いいたします。また、今年度の学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

校長 岡本 恵理子 教職員一同



子どもたちが遊ぶ緑豊かな明倫の中庭

「ブランコとシーソーは子どもたちに大人気」

